

国際ロータリー第2620地区



御殿場  
ロータリー  
クラブ

# 週報

2009.2.5 Vol.29



## ●第2075回 例会プログラム

- 例 会 場／東山荘
- 開 会 点 鐘／12:30
- 国 歌 斉 唱
- ロータリーソング／四つのテスト
- 内 容／会員卓話 石田 恩君

## ●会員慶事

- 会員誕生日／2月11日 深沢昭三君
- 夫人誕生日／2月6日 渡辺修司君 夫人 弘美様
- 2月8日 渡辺 巖君 夫人 洋子様
- 2月10日 勝又 誠君 夫人 通子様
- 結婚記念日／2月7日 戸栗太平君 久美子様 ご夫妻
- 皆 出 席／1月30日 橋本喜市君 (12年)
- 2月2日 根上眞一君 (14年)



豊山徹也

会長挨拶

### 第28回例会

今日のご報告事項が幾つかあります。16日には御殿場青年会議所の賀詞交歓会に行ってきました。24年ぶりに歌ったJ Cソングは忘れていませんでした。

ロータリークラブ、メンバーの子弟が見回したところ9人ほどいたようでしたが、元気に頑張っている様子で、大変頼もしく感じました。

23日には新会員の渡辺修司君の入会に当たっての情報を御殿場館21で開催していただきました。情報委員長から大変詳しい情報が伝達されましたので、渡辺君が惑うことなくロータリークラブを理解し、活躍してくれると思います。

24日には静岡で行なわれた新会員セミナーに幹事・小早川君と新しい会員、山内強嗣君、勝又厚君に出席していただきました。

新会員研修セミナーはガバナー牧田静二さんが「ポールハリスの生涯とロータリーの精神」、パストガバナーの高橋堯昭さんが、「ロータリーに入れてもらってよかった」というお話をされました。夫々一時間ずつのお話でしたが、高橋堯昭さんの話にはいつもながら眠気も起きませんでした。新会員も堯昭さんのお話を大変喜んで聞いていたようでした。

25日はIMでした。当日の講師である、名古屋東南ロータリークラブの伊藤秀雄さんと名刺交換をするため、各クラブの会長幹事は10時半に集まり、伊藤さんと名刺を交換しました。伊藤さんからは御殿場は良いところですねと親しくお話を頂きました。

13時より合同例会があり、その中で新会員の入会式が行なわれました。ガバナーから直接バッジをつけてもらうわけですから、大変思い出に残る入会記念日となったでしょう。

どういう訳か分かりませんが、我がクラブの新会員の渡辺君だけ司会者から呼ばれず、どうしたのかなと思って緊張が走ったのですが、長田吉弘君の機転にて、無事壇上でガバナーよりバッジをつけてもらいました。

その後伊藤さんの1年間に28名を増強した話を頂きましたが、新会員増強の方法は奇抜なものではなく、我々御殿場ロータリークラブの皆が考えているのと同じ、入ってもらうのではなく入れて頂きたいと思って入会するという基本的なものであることだったので安心しました。そしてその考え方が会員の減少を食止める大事なものだ、と思いました。



Make Dreams Real  
夢をかたちに

次 回  
2月12日の例会

★18:00点鐘  
★東山荘  
★炉辺会議 ガバナー補佐訪問  
クラブ奉仕委員会



## ロータリー 理解推進月間に因んで

ロータリー情報委員会  
委員長 山口幸男君

手続き要覧に掲載されている決議23-34について、ロータリーの友9月号に掲載された内容についてお話しします。

決議23-34は歴史的文書の中の一つで、1923年セントルイス規定審議会で決議されました。内容は、ロータリー綱領に基づき奉仕をするという内容です。どちらかという個人ではなくロータリークラブを対象としているので、この80年の間に多く議論が行われました。何回もほかの国の理事から撤廃を求める意見が出されましたが、日本のロータリークラブでは歴史的文書として存続を支持して来ました。この年（大正12年）は関東大震災があり世界各地のロータリークラブから義援金を送られた事、内容そのものが歴史的文書としてふさわしい事が日本が支持する由縁であると思います。

反対理由ですが、「1.ロータリーは実業家・職業人の組織だから実業家職業上の問題に力を注ぐべきで、社会問題にはただ広く関心をよせるだけで事足りる。一業一人の制度の意味もそこにある。2.ロータリーは個人奉仕が主体で、クラブとしてこのような問題に直接関与すべきでない。クラブは会員個人にこのような社会問題に関心を寄せるように奨励することにとどまるべきである。

3.クラブという組織がこのような社会問題にのめり込むと、ロータリー本来の面目が失われる恐れがある。ロータリーは言論的唱導機関であるべきだ。4.各ロータリークラブはそれぞれ独立の存在で完全自治権を持っている。そのクラブ活動にほかからあれこれ指図される訳ではない。」とされています。

1986年の規定審議会で決議23-34の撤廃と新声明採用の案が出され、日本のロータリーからは猛烈な反対があり、RIはポリオプラスプログラムの賛同を得たいため最終的に撤回されました。1991年の理事会では、決議23-34の日本ロータリーにおける重要性を説いて歴史的文書として残そうとしました。どのように理事会を説き伏せたかという「日本が今日世界第2位のロータリー大国となったのも、ひとえにこの決議23-34を信奉しているからである。もしこの決議が撤廃されれば日本ロータリーとしては重大な決意をせざるを得ないであろう。ロータリアン数の激減を覚悟して対処する必要がある。」と強行で脅迫的な意見を出した訳です。結果的には理事会に受け入れられ、決議23-34は撤廃せず、原型を残しほかの修正案と一緒に存続しています。2007年の11月の理事会で、ポリオに打ち勝つには支障があるという事で撤廃の提案が出されました。2008年1月25日、日本の理事の努力で「手続き要覧改訂版に歴史的文書として保存する事、歴史的価値を有するものとして手続き要覧に記載されている事を言及する文をロータリー章典に含める事」で決着しました。詳しくはロータリーの友9月号をご覧ください。



司会 渋谷 一君



ソングリーダー  
秋田悦夫君



皆出席 石田 恩君



幹事報告  
小早川豊一君



出席報告  
勝又 厚君



渡辺修司君 入会式



お誕生日おめでとう  
勝又安彦君・山崎伊久雄君



スマイル報告  
勝又安彦君

### 1/29 の出席報告

会員数	計算に用いる 会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の 確定出席率
61名	57名	51名	89.47%	100.00%

#### 欠席者（6名）

秋田 敬君・神谷高義君・勝間田太住君・根上陽一君  
大森清治君・渡辺 巖君

※やむを得ず欠席される方は、午前10時までにご連絡下さい。

### 1/15 のメーキャップ

1月9日 裾 野 勝又 洋君	1月19日 柿田川 井口 修一君
1月14日 静岡 西 渋谷 一君	1月21日 長 泉 神谷 高義君
1月16日 裾 野 井上 元君	1月27日 河 口 湖 根上 陽一君
1月16日 沼 津 大森 清治君	

### 1/29のスマイル

・新入会員の渡辺修司君を宜しく願い致します。  
林 由行君・長田吉弘君



第2620地区

御殿場ロータリークラブ

○例会日/木曜日

○例会場・事務局/YMCA 東山荘

静岡県御殿場市東山1052

電話/0550-83-1133 FAX/0550-83-1138

http://www.gotemba-rc.gr.jp/

会

幹

会報委員長

長○豊山 徹也

事○小早川豊一

会報委員長○根上 陽一